

# ぎ かい の 柱

NO.72 令和4年2月1日号

12月定例会などの内容をお伝えします。



## CONTENTS

【特集】みんなの声	P2～3
12月定例会	P4～5
常任委員会審査報告	P6～7
一般質問	P8～11
自治功労者表彰受章	P12
議会の動き	P12

特集 みんなの声

樹氷 森吉山

×

市議会

# 樹氷 森吉山 × 市議会

今回は日本三大樹氷の一つである森吉山の阿仁スキー場を訪ね、北秋田市の観光振興に取り組みされている支配人の吉田茂彦さんに取材をさせていただきました。

コロナ禍で観光客が激減するなか、今年度は山麓駅舎のカフェスペースの整備や本市での国際樹氷サミットの開催など、インバウンド（訪日外国人客）の集客に向けた機運が高まっています。

そうしたなかでの今後の取組や課題、スキー場運営の現状などについて伺ってまいりました。



## 森吉山の樹氷



リニューアルした山麓駅舎



### 樹氷の見頃と集客状況

**議員** 樹氷のできる時期、見頃の期間を教えてください。

**吉田** 樹氷は北西の冷たい風が吹く12月中旬から出来てきて、1月から大きさがちょうど良くなり見頃になります。天候にもよりますが、例年3月の初めくらいまでは観賞できます。

**議員** 樹氷観賞の観光客は年間どれくらい来られますか。

**吉田** 昨年、樹氷観賞だけで来られたお客様は、年間約4千人ほどでした。コロナ以前は県外や台湾、タイなどの海外のお客様が多く、約6千人ほど来ていたもので、随分と様変わりしました。

**議員** スキー客の集客はどのような状況ですか。

**吉田** この雪質が海外にも誇れるくらいの良い雪質なので、スキー客には大変喜ばれています。それを証明するかのよう、国内の有名なスキー場でガイドをされている方が、お客様を連れて来たり、紹介してくれたりするようになりました。特に樹氷の間を滑るバックカントリースキーはここが一番適していると思いますので、そのような点を更にPRして集客につなげていきたいと考えています。



吉田茂彦 支配人

## 樹氷サミットの開催

**議員** 今年度は本市が樹氷サミットの開催地ですが、開催にあたって期待していることなどはありますか。

**吉田** 前回のサミットでは、各メディアに取り上げていただきまして、海外向けの発信が大変好評だったので、初めてタイからもお客様が来られました。さらには旅行会社を通して予約をされる団体のツアー客が増えましたので、それもサミットの効果であったと思っています。今回も情報交換などで、コミュニケーションを取らせていただければと思います。

**議員** 団体のツアー客が増えているとのことですが、団体客向けの新たな取組などはありますか。  
**吉田** 団体のお客様は食事はこちらでされますが、宿泊は他へ移動されますので、地元産の食材を活用したここでしか食べることでできないような食事を提供するなどして、できるだけ地元泊まってもらえるように、私達も取り組んでいきたいと思っています。

## コロナ禍による影響

**議員** スキー場の運営はコロナ禍で厳しい状況が続いていると思いますが、コロナ以前と比べていかがですか。

**吉田** コロナ以前は年間約6千人位お客様が来ていました。その中でインバウンドのお客様の割合は約20%位でしたが、収益率は大変よかったです。特に正月は例年帰省客の利用が多かったのですが、激減してしまいました。それを地元の方々に利用していただき、少しカバーしているという状況です。

**議員** コロナの感染状況も落ち着いてきているので、お客さんも増えてくれればいいですね。

**吉田** コロナがやや落ち着いてきたとはいえ、以前のようにインバウンドの多さがすぐには戻ることはないと思うので、厳しい状況は今後も続くと思います。

## 指定管理者として

**議員** 森吉山阿仁スキー場は市の指定管理施設となっていますが、現在の経営状況をどのように捉えていますか。

**吉田** 指定管理契約については、5年間の契約になっていますが、人件費がどんどん上がってきている現状で、見直しができればいいのかもしれませんが、できないので経営は厳しく、全く余裕がないと言っても過言ではありません。

**議員** 市と協議をして料金の見直し等も検討されてみては。

**吉田** 確かに施設の利用料金に転嫁する方法もありますが、お客様にはなかなか求めづらいという現実があります。

**議員** 運営・管理をしていく上で、ご苦労されている点があれば教えてください。

**吉田** 施設が30年以上経過して老朽化が進み、故障の件数も増加傾向にありますし、広大な土地を擁する施設なので、そのなかでお客様に迷惑がからないように運営していくのは大きな負担になっています。



阿仁スキー場 山麓駅舎

**議員** 市や市議会に対して要望などはありますか。

**吉田** 市や市議会の方々と様々な機会に情報交換などを含め、たくさん話をする機会を設けていただければありがたいです。

**議員** こちらこそ、またお話をさせていたきたいです。本日はありがとうございました。

## 取材を終えて

北秋田市を代表する観光施設の一つであり日本三大樹氷としての施設運営の難しさや、コロナ禍での観光客の激減でも創意工夫で乗り切ろうと奮闘されている姿勢に感銘を受けました。市議会として市の指定管理施設の一步踏み込んだ状況把握が必要だと感じました。



## 12月定例会の主な議事

- 北秋田市職員の懲戒の手續及び効果に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 北秋田市ふるさと寄附金基金条例の制定について
- 北秋田市介護予防・地域支え合い事業利用者負担金徴収条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について
- 北秋田市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
- 令和3年度一般会計補正予算（第7号・第8号）
- 令和3年度各特別会計補正予算
- 指定管理者の指定について

## 令和3年 12月定例会

# 令和3年度 一般会計予算

# 5億4776万6千円を追加



令和3年北秋田市議会12月定例会は、12月7日から12月17日までの11日間の会期で行われました。

今定例会に提出された条例案4件、予算案9件、単行議案5件の18件については、審議の結果、全て可決し、陳情4件については、3件を採択、1件を一部採択としました。

また、最終日に追加提案された人事案2件、発議案6件については、発議案1件が賛成少数による否決、そのほかは可決及び同意されました。

### ▼令和3年度一般会計補正予算

今定例会に上程された令和3年度一般会計補正予算は、追加提案もあったことから2件あり、合計で5億4776万6千円を追加し、総額は249億2220万7千円となりました。主な事業と予算額は次のとおりです。

主な補正予算	予算額
障害者支援費支給事業	35,843千円
公立学校情報機器整備事業	3,318千円
新型コロナウイルスワクチン（3回目）接種事業	4,822千円
企業誘致対策事業	11,894千円
道路維持事業	50,000千円
ハローキティ装飾撤去費用	622千円
ふるさと寄附金事業	206,062千円
子育て世帯等臨時特別支援事業	189,132千円

### 人事案件

#### 米内沢財産区管理委員の選任

- 〈新任〉奥田 賢一氏
- 〈新任〉生田嶋照雄氏
- 〈再任〉金 晃咲氏
- 〈新任〉金 義孝氏
- 〈新任〉佐藤 秋男氏
- 〈再任〉奈良 浩平氏

#### 前田財産区管理委員の選任

- 〈再任〉白澤 光慶氏
- 〈再任〉春日 俊克氏
- 〈再任〉大淵 邦三氏
- 〈新任〉佐藤 澄夫氏
- 〈再任〉庄司 精晴氏
- 〈新任〉戸島 昭彦氏

議員発議第17号  
**国保税の均等割  
 18歳以下の免除を**

最終日、議員発議により「国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について」が提案されました。提案理由は、子育ての負担を少しでも取り除くため、国保税の18歳以下の均等割を免除するというもので、質疑・討論のあと、採決を行った結果、賛成少数で否決されました。

**賛成・反対討論**

▼議員発議第17号

反対討論 武田 浩人議員

予算に関わる議案なのに、当局と

【令和3年12月定例会／令和3年12月17日採決】

賛否が分かれた議案等の表決状況

議案名	会派・議員名	採決結果	
		否決	一部採択
陳情第42号 安全・安心の医療・介護・福祉を実現し、国民のいのちと健康を守るため国に意見書提出を求める陳情	新創会	佐藤 重光 ●	○
	虻川 敬 ●	○	
	杉淵 一弘 ●	○	
	佐藤 文信 ●	○	
	永井 昌孝 ●	○	
	みらい	佐藤 光子 ●	○
	中嶋 洋子 ●	○	
	黒澤 芳彦 -	-	
	堀部 壽 ●	○	
	小笠原 寿 ●	○	
緑風・公明	武田 浩人 ●	○	
関口 正則 ●	○		
日本共産党	板垣 淳 ○	●	
三浦 倫美 ○	●		
久留嶋範子 ○	●		
無会派	山田 博康 ●	○	
福岡 由巳 ●	●		
長崎 克彦 ●	○		

○：賛成 ●：反対 ▼：欠席もしくは退席 除：除斥 ※議長は採決に加わりません。

の十分な協議もないまま、しかも委員会付託で審査を行う時間もない中で判断をするのは、あまりにも唐突であり無理がある。

賛成討論 久留嶋範子議員

この条例改正は、子どもの保険料均等割の軽減を図るものであり、秋田県国保連合会でも、国に要望してきた。国の制度の開始に合わせ、18歳以下の均等割の免除を求めるべき。

反対討論 佐藤 文信議員

財源が5000万円あるので、十分負担できると判断されていますが、感染症等が発生すると、今までも1億円以上の財源が必要な時もあり、決して余裕ある財源とは言い難い。

▼陳情第42号

一部を削除し「一部採択」とする  
 ことについて

反対討論 久留嶋範子議員

コロナ禍で、ただでさえ高齢者の受診控えが進む中、負担増は、いのち・健康権・人権の侵害です。陳情項目3「75歳以上の窓口負担2倍化中止」の文言を削除せず採択すべき。

賛成討論 中嶋 洋子議員

政府は一定の収入がある75歳以上の医療費窓口負担を1割から2割に引き上げる時期を、令和4年10月からとする検討に入った。現役世代の保険料負担を抑えるためにも賛成。

反対討論 福岡 由巳議員

成立した関連法は、目的の現役世代の負担抑制の効果は限定的で低すぎる。陳情項目3は「国家負担を増額し」「75歳以上の窓口負担2倍化中止」の全文を活かすべき。

賛成討論 杉淵 一弘議員

高齢者医療の財源は、大企業の健保組合などが支える構造であり、医療費が増えると健保組合の運営も厳しくなる。そこで政府は、世代間の公平を重視するとの意向のため。

皆さまからの請願・陳情と意見書提出

件名	請願・陳情者氏名	結果	意見書
安全・安心の医療・介護・福祉を実現し、国民のいのちと健康を守るため国に意見書提出を求める陳情	秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 三浦 耐子	一部採択	提出
精神保健福祉の改善について国に意見書提出を求める陳情	秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 三浦 耐子	採択	提出
安全・安心の医療・介護・福祉を実現し、国民のいのちと健康をまもることを国に求める意見書提出の陳情	秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 三浦 耐子	みなし	-
	秋田県労働組合総連合 議長 越後谷 建一	採択	
介護をする人・受ける人がともに大切にされる介護保険制度への転換を求める国への意見書提出の陳情	秋田県社会保障推進協議会 会長 佐藤 幸美	採択	提出

【委員長】武田浩人 【副委員長】山田博康  
【委員】三浦倫美／小笠原 寿／佐藤光子／佐藤重光

### 総務文教常任委員会

#### 事業中止でキャラクター装飾撤去

当委員会に付託された案件は、条例案2件、予算案1件の計3件でした。

令和3年度一般会計補正予算の総務部関係では、キャラクター装飾撤去委託について、委員から「やめる理由がコロナだけなのか」と質疑があり、当局からは「コロナによって令和2年度から事業展開ができなかった。今後を考えた時に、元の生活に戻ることは考えにくく、このままキャラクターライセンス使用料660万円を投資することが適当かを判断した時に中止せざるを得なかった」との答弁がありました。

また、委員からの「重要な施策として市民も非常に興味があり、賛否両論の中で進めてきた。それに対し、当委員会として附帯意見を付したことを踏まえれば経緯や経過等を全員協議会などで示す考えはなかったのか」との質疑に、当局からは「政策的な事業なので全員協議会で説明する機会があっても良かったと感じ

ている」との答弁がありました。この点については「今後主要な事業を実施、変更等する場合、事前に議会に示すことを望む」と附帯意見を付しております。

教育委員会関係では、債務負担行為の市有スクールバス運行管理業務委託について、当局から「市が所有しているスクールバス12台の運行及び管理を業者に委託し、燃料費、車両等の修繕、人件費などを含めて委託契約したい」との答弁がありました。

#### ふるさと寄附金 基金条例制定へ

北秋田市ふるさと寄附金基金条例の制定については、当局から「当該年度に充当できないときは、次年度に寄附者から指定のあった目的に区分し充当して行くことになる」との答弁がありました。

以上の審査を踏まえ、全ての議案を全会一致で可決すべきものと決しました。

(委員長 武田浩人)

【委員長】佐藤文信 【副委員長】中嶋洋子  
【委員】杉渕一弘／福岡由巳／久留嶋範子／関口正則

### 市民福祉常任委員会

#### ワクチンの選任は個人に任せる

当委員会に付託された案件は、条例案2件、予算案6件、陳情4件の計12件でした。

介護予防・地域支え合い事業利用者負担金徴収条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について、委員からは「地域公共交通との連携はあるのか」との質疑があり、当局からは「福祉有償運送運営協議会のメンバーの中に、公共交通地域活性化協議会のメンバーも入っている

ので、情報共有はされています」と答弁がありました。一般会計補正予算について、委員から「食の自立支援事業委託について、10月から1日1食までと食数が増えているのか」と質疑があり、当局からは「1日1食まで利用状況を勘案し、2310食ほど伸びる見込みである」と答弁がありました。

また、委員から「コロナワクチン3回目接種事業について、ファイザー社とモデルナのワクチンは希望の2社を選任できるのか」との質疑が

あり、当局からは「県の配分計画では、ファイザー社が約6割、モデルナ社が約4割の配分予定で、ワクチンの選任は個人に任せる」と答弁がありました。

#### 陳情は賛成多数で 一部採択に

安全・安心の医療・介護・福祉を実現し、国民のいのちと健康を守るための陳情について、一部反対の立場から「若い世代の負担を考えると75歳以上の窓口負担2倍化を中止するなど国民負担を軽減する部分は、令和2年の陳情でも反対している」、一方賛成の立場から「75歳以上の医療費負担ということでは、高齢者が受診を控えて重症化につながりかねないので、全ての項目で賛成したい」との討論があり、賛成多数で一部採択、その他の条例案2件、予算案6件、陳情2件は全会一致で可決、陳情1件は、みなし採択とすべきと決しました。

(委員長 佐藤文信)

# 3つの常任委員会

【委員長】堀部 壽 【副委員長】虻川 敬  
【委員】永井昌孝／長崎克彦／板垣 淳／黒澤芳彦

## 産業建設常任委員会

### クウインシス森吉の指定管理者決定

当委員会に付託された案件は、予算案3件、単行議案5件の計8件でした。

令和3年度一般会計補正予算の商工観光課のキャラクター

1 装飾撤去委託について、委員から「撤去は全部が外部委託なのか、それとも一部は職員が行うのか。また、撤去作業の時期は」との質疑があり、当局からは「3施設のうち、2施設は職員での撤去を予定したが、シールの粘着剤が特殊なものを使っているとのことで、全施設を外部委託することとした。なお、撤去の時期は3月中を想定している」との答弁がありました。

産業振興促進条例に基づく固定資産取得経費助成金について、委員から「雇用の増加した分が、投資したお金に見合った効果なのか疑問である。この条例は、最近策定したばかりの条例なので、効果部分を慎重に見てほしい」との意見がありました。

以上のような審査を踏まえ、予算案3件は、全会一致で原

案のとおり可決すべきと決しました。

### 指定管理者の指定 5施設を審査

単行議案、クウインシス森吉の指定管理者の指定について、委員から「指定管理施設の売店部分の賃借料が、指定管理者の議決がされたあと、すぐ値上げになった。こういうやり方に疑問があるが、どのように考えるか」との質疑に、当局からは「値上げの経緯はわからないが、事前に市の方に協議があつてしかるべきであり、市としてもそこは指導していくべきと考える」との答弁がありました。

委員会として「料金等の改定の際には、改定内容やその時期を指定管理者と十分に協議し、利用者への説明を重視しながら慎重に進められたい」との意見を申し添え、ほか4議案とともに全会一致で原案のとおり可決すべきと決しました。

(委員長 堀部 壽)

## 閉会中の所管事務調査・委員会報告（抜粋）

### 総務文教常任委員会

11月2日に『伊勢堂岱遺跡について』調査を実施しました。

担当者から「5月下旬から縄文館への入館者が3倍以上となり、10月には過去最高となった。また、秋田県保存活用連絡会議が当市で開催され、各機関が取組報告などを行い情報共有を図った」と説明がありました。

委員からは「遺跡群の中で伊勢堂岱遺跡は認知度が低い、対策は」との質疑があり、当局からは「特徴を凝縮したPRを行いたい」と答弁がありました。

また、伊勢堂岱縄文館の視察を行い、更なる来館者の増加に向けて意見を交わしました。

### 市民福祉常任委員会

10月21日に『介護予防事業の取り組みについて』と『新型コロナワクチン接種事業について』調査を実施しました。

それぞれ担当者から説明を受けたあと質疑応答を行いました。委員からの「検診の受診率を上げるのも介護予防では」との質疑に、当局から「検診については、国保データベースシステムで地区ごとの分析ができるので、サロン等で受診の声かけをしています」と答弁がありました。

また、3回目のワクチン接種についての質疑には「2回目接種後、8か月経過した対象者には、順番にクーポンを送付する予定です」と答弁がありました。

### 産業建設常任委員会

10月21日に『養豚事業について』調査を実施しました。

はじめに市内の豚の飼育状況の実績について説明を受け、そのあと七日市葛黒地区に建設中のポークランドグループによる新農場整備の概要についての説明を受けました。

委員からは、新規雇用される人員や衛生環境などの質疑が出され、担当者から詳細な説明を受けつつ、意見を出し合いながら情報の共有を図り、事業に対する理解と認識を深めました。

このあと建設地に移動し、工事の進捗状況を確認しながらポークランド側から施設に関しての詳しい説明を受けました。

活かそう市民の声市政を問う！

# 一般質問

一般質問は、12月9日・10日の2日間で行われ、9名の議員が登壇しました。

長崎 克彦 議員 (P8)

◆ 農業振興について

◆ 大学、専門学校とのセミナー誘致について

◆ 新型コロナウイルスワクチン接種について

杉渕 一弘 議員 (P8)

◆ 農業政策について

◆ 有害鳥獣対策について

◆ 再生可能エネルギーの利用促進について

◆ 新型コロナウイルスワクチン追加接種(3回目)について

三浦 倫美 議員 (P9)

◆ 地域包括支援センターについて

板垣 淳 議員 (P9)

◆ 道の駅たかのす基本構想について

◆ 学校統合について

QRコード 動画へ



QRコード 動画へ



QRコード 動画へ



QRコード 動画へ



基幹産業の農業  
振興対策について

長崎 克彦  
(無党派)

Q 再生協議会で決定した米の作付面積は。

A 1万3454トン、2510haで目標の9割以下で、内訳は「あきたこまち」が、2033ha全体の8割ほどである。

Q 「あきたこまち」の8割作付けは多いと考えますが。

A 交付金等の活用と米に依存しない経営を関係者と協議しながら指導していく。



農協倉庫「あきたこまちの在庫」

Q 大学、専門学校とのセミナー等を誘致し、賑わいのある街づくり構想の考えについて。

A 首都圏の大学ゼミと連携し、研究のため訪問してもらうことは交流人口の増加につながる有効な手段と考える。

Q 誘致に森吉山でのスキー合宿や伊勢堂岱遺跡をPRしてはどうか。

A スポーツゼミ合宿等について研究し、積極的に進めたい。

Q ワクチン接種の経過と今後について。

A 令和3年5月12日より特設会場で、高齢者から順次接種を開始し、11月20日で全日程を終了。11月30日現在、12歳以上91.6%の方が接種済みである。

Q 3回目の接種、冬期間はどうか。

A 交流センター、合川、森吉、阿仁庁舎の4会場で4月以降は鷹巣体育館と森吉スポーツセンターを予定している。



米価下落に対し、緊急支援対策を

杉渕 一弘  
(新創会)

Q 米価下落に伴う稲作農家支援について。

A 国の対応次第では、減収に対する直接的な支援や市による地方創生臨時交付金を活用した年度内の対策も視野に入ってくるものと考

えますが、仮にこれかなわぬ場合、市の独自施策として、主食用米のみならず飼料用米等の非主食用米の作付転換にも対応できるように、全水稻における種子購入費に対する助成制度について予算に盛り込めるよう進めている。



米価下落 緊急支援を

Q 有害鳥獣対策の今後の取組について。

A 有害鳥獣数は増加傾向にあるものと推測されますので、猟友会との連携強化、捕獲活動の拡充、新たにイノシシ対策として「くりわな」の購入のほか、センサー付きサル用「箱わな」については、年度内に整備し、捕獲頭数を増やすこと

で対策を強化していく。

Q 新型コロナウイルスワクチンの3回目の追加接種の体制整備について。

A 2月から交流センターと3庁舎で高齢者の集団接種を開始し、3月まで延べ23日間、4月以降は鷹巣体育館と森吉総合スポーツセンターで延べ15日間を計画しており、7月下旬には集団接種を終了する予定です。

蛇川 敬議員 (P10)

- ◆ 北秋田市民病院について
- ◆ フィルムコミッションについて
- ◆ 今後の当市の経済発展・活性化について



QRコード 動画へ

福岡 由巳議員 (P10)

- ◆ 北秋田市地域公共交通について
- ◆ 市民による植樹事業の推進について
- ◆ 北秋田市史編さんについて
- ◆ 文化会館の利活用拡大について



QRコード 動画へ

佐藤 文信議員 (P10)

- ◆ 農業政策について
- ◆ 地域振興政策について
- ◆ 新型コロナウイルス対策について



QRコード 動画へ

久留嶋 範子議員 (P11)

- ◆ 今後の新型コロナウイルス対策について
- ◆ 福祉灯油について
- ◆ 公民館活動について



QRコード 動画へ

小笠原 寿議員 (P11)

- ◆ 市民栄誉章の授与について
- ◆ 地域振興策について



QRコード 動画へ

地域包括支援センターの業務内容は



三浦 倫美  
(日本共産党議員団)

Q 直営から委託に移行した経緯は。

A 身近な相談支援強化のため、令和元年度に日常生活圏を3圏域に細分化し、包括的支援事業、介護予防・日常生活支援総合事業、指定介護予防支援事業等を民間法人に委託した。

Q 取組の現状は。

A 総合相談は、平成30年度1276件、令和元年度1611件、令和2年度2694件。

Q 行政との連携は。

A 高齢福祉課で各地域包括支援センターの統括や指導監督及び情報共有を行い、困難事例は協働で対応している。

Q 今後の方針は。

A 高齢者が住み慣れた地域で、自分らしい生活を続けられるように、医療・介護・予防・住まい・生活支援サービ



高齢者の悩み事相談支援も

道の駅たかのす整備で癒着疑念



板垣 淳  
(日本共産党議員団)

Q 老朽化している道の駅たかのすの「ぶっさん館」は民間の建物なので、公が建て替えるのはおかしい。しかもぶっさん館の経営者が「道の駅たかのす整備検討委員会」の副委員長になっている。利益を受ける人が行政委員会のメンバーになって計画を進めるのでは、コンプライアンスがなっていない。癒着であり大問題だ。

A 検討委員会で意見をいただいているのであって問題ではないと考えている。

Q 大きく立派な建物を新築し、年100万人も来ている道の駅二ツ井の建築費がいくらかご存じか。

A 12億円。

Q ニツ井より小さい規模のたかのすの建設費

A 7月に住民説明会を開催し、12月には校名募集のチラシとともに義務教育学校を紹介した文書を配布した。



道の駅たかのす

Q 阿仁の小中統合について住民への説明が少なく、義務教育学校とは何なのか分からない人が多い。これではないのか。

A 7月に住民説明会を開催し、12月には校名募集のチラシとともに義務教育学校を紹介した文書を配布した。



北秋田市民病院  
について

虹川 敬  
(新創会)

Q 医師の確保について北秋田市でどのような動きをしてきたか。また今後の医師の充足に關しての予定は。

A 指定管理者と連携した招聘活動等において、県や関係大学との連携が図られ医師の拡充に努めている。国に対し、均衡ある医師の配置について継続した要望を行ってきており、県で開設した各医療機関と求職医師との仲介を行うドクターバンクを活用した医師募集も行っている。今後も、多くの関係機関との連携のもと医師充足の向上を図ってまいりたいと考えている。

Q 北秋田市民病院を市民が使いやすい場所へニーズに合った規模での移転を検討しては。



北秋田市民病院

は、市町村合併協議会において決定された場所、多くの関係者の皆様のご尽力により建設された施設であり、運営につきましても、度重なる協議を経た上で指定管理者制度を導入し、厚生連との基本協定の中で、安定した経営のもと、良質な医療が提供できるような体となって取り組んできておりますので、病院移転の検討や他病院への運営委託などの見直しについては、まったく考えていない。



「計画は大枠だけで説明の段階にない」

福岡 由巳  
(無党派)

Q 先日、合川地区自治会長会議が開かれていた。その際、地域公共交通利便増進実施計画について、なぜ説明しなかったのか。せっかくの機会だったはずである。

A 今回の計画は事業の大枠だけで具体策まで至っていないので、もう少し内容を整理した上で説明していきたい。9月議会では、計画は基本的に見直しをしないという答弁であったが、急に内容を整理する(見直す)と答弁を変更している。しかし、計画は見直しが必要であり、今の答弁を今後に生かすよう求める。

と、ここで合川区の路線バス廃止、診療所バスの有料化、デマンド交通



市民には今なお説明できず

の計画はいずれも問題がある。このまま住民に説明するのか。  
A このままの提案とせず、その方向性を示した上で説明をしていきたい。  
Q この計画には596万円も使っているが、森吉・阿仁地区の計画でも、運行コース、ダイヤ、料金、スクールバスとの関わり、内陸線との関係など不備である。遅すぎないか。  
A 引き続き検討するという事項であり、学校統合や内陸線との関係を精査し、示していきたい。



米価下落に対する認識と支援策は

佐藤 文信  
(新創会)

Q 21年産の米価下落により、「JA秋田たかのす」では、前年対比約5億6800万円の集荷額の減が見込まれていますが、市の経済に与える影響についての認識と、JAからの米価下落に対する要請への対応について。

A 農家の生産意欲の減退や、市の経済に対しても消費活動が鈍ることを心配している。22年産米の全水稻種子購入費に対する助成制度の準備を進めている。

Q 世界遺産登録された



豊作も喜べない米価下落

伊勢堂岱遺跡を起点とする観光振興や市民病院の医師確保、企業誘致など、将来への投資として大館能代空港3便化に向けての取組について。

A これまでの冬期間限定から通年助成とし、助成額も2倍としている。観光、ビジネス、地域医療等の対策として部局を超えた横の連携を図っていく。

Q にかほ市や美郷町で実施をしている小・中学校のドアノブや手すり、トイレの便座、手洗いの蛇口等の抗菌、抗ウイルス効果があるガラスコーティングを施工する考えは。  
A どれくらい感染リスクを減らし、消毒作業の負担軽減が図られるのか、効果等について情報収集に努める。



今後の新型コロナウイルス対策について

久留嶋 範子  
(日本共産党議員団)

**Q** 新型コロナウイルス対策として、年末年始の帰省や会食自粛、イベント・地域行事の再開はどうなるのか。

**A** 現在、市では帰省や会食の自粛は求めている。帰省についてはワクチン接種、または事前のPCR検査を行うようホームページで周知している。今後のイベント等の開催は、新たな変異株の感染状況を見極めながら、可否を判断したい。

**Q** 3回目のワクチン接種について。前回の接種状況から、何が課題となっているか。5歳と11歳の接種についての対応は。

**A** 冬期間での開始となるため、移動時の安全確保が課題。2種類のワクチン供給で接種の間違いが無いか確認。

5歳から11歳の接種は保護者が安全安心に接種を勧められるよう整備していきます。

**Q** 福祉灯油の拡充について。8年前にも実施され、大変喜ばれたが、コロナ禍で深刻な状況が続いている。拡充の考えはあるか。

**A** 現時点では非課税世帯以外への拡充は予定していない。



高騰が続く原油価格

**Q** 老朽化した施設への対策は。七日市公民館の調理室の改修を。

**A** 安心して利用できるよう対処していく。



伊勢堂岱遺跡縄文館敷地内で土産販売を

小笠原 寿  
(緑風・公明)

**Q** オリックス・バファローズの監督、中嶋聡さんに市民栄誉章を与えるとともに、ふるさと大使の任命準備を。

**A** 選定については、今がそのタイミングであり、是非受けていただきたいと思っている。また、ふるさと大使就任にあたっての実績と知名度も申し分ない。多忙を極めるスケジューリング等に十分配慮しながら、準備を進めていきたい。

**Q** 伊勢堂岱遺跡周辺エリアの地域振興に向けた整備計画策定を。

**A** 遺跡来訪者の状況を見極めつつ、大館能代空港ビルや縄文小ヶ田駅の活用も含めて、世界文化遺産登録による観光関連産業への効果を市内に循環できるように取り組んでいきたい。

**Q** 伊勢堂岱遺跡縄文館は市教育委員会直轄の文化施設であり、遺跡に関連した物品販売を基本としていて制約がある。エリアに土産品などの販売が行えるような施設を。

**A** 物品販売は世界文化遺産登録の効果を直接的に市内業者が感じ取れる取り組みと考え、繁忙期など期間を区切り、敷地内での物品販売や飲食の提供について関係者と協議、調整を行っている。



登録を契機に地域活性化を



第4回臨時会

2案件を可決

第4回臨時会が11月25日に開かれ、上程された条例案1件、予算案1件を審議した結果、いずれも全会一致で可決しました。

大森光信氏を追悼

臨時会の冒頭、10月20日にご逝去された大森光信氏の「追悼の儀」が、妻・則子さんをはじめ、ご遺族が見守るなか行われました。

この日、会場には大森氏の遺影が安置され、はじめに全員で遺影に黙とうをささげ、このあと黒澤議長が弔詞を読み上げたほか、佐藤光子議員、津谷市長がそれぞれ追悼の言葉を述べるなどし、大森氏の冥福を祈りました。

追悼の儀の終了後には、議長からご遺族に遺影と弔詞が手渡され、ご遺族はそれを胸に抱え、大森氏が市の発展のため、幾度と論戦を繰り返した議場を後にしました。

「職員の給与に関する条例の改正」

県人事委員会勧告を尊重し、一般職、市長等の特別職及び市議会議員の期末手当を0.1か月分引き下げるもの。

【一般会計補正予算】  
4308万8千円を追加するもの。

【補正予算の主な事業】

- 暖房費等助成事業  
2643万9千円
- 灯油の高騰に伴い低所得世帯の暖房費等の負担軽減のため、住民税非課税世帯に1世帯あたり6千円を助成。
- おもてなし宿泊支援事業(第2弾)  
1649万4千円

冬期間の誘客促進と宿泊事業者の事業継続推進のため、すでに始まっている第1弾を継続して実施するもの。

## 議会の動き

<10月16日～1月15日>

10月

- 18日・広報特別委員会
- 21日・市民福祉常任委員会  
(所管事務調査)
- ・産業建設常任委員会  
(所管事務調査)
- 22日・秋田県後期高齢者医療広域連合議会定例会

11月

- 2日・総務文教常任委員会  
(所管事務調査)
- 11日～12日・小阿仁川水系対策委員会視察研修
- 18日・議会運営委員会
- 22日・秋田市議会議長会臨時会
- ・秋田県知事との行政懇談会
- ・盛岡秋田道路・大曲鷹巣道路整備促進フォーラム
- 25日・第4回臨時会
- ・森林・林業・林産業活性化議員連盟研修会
- 26日・議会運営委員会
- ・北秋田市日道建設促進期成同盟会 二ツ井今泉道路現場視察
- 29日・議会運営委員会

12月

- 7日・12月定例会(初日)
- ・議会運営委員会
- ・広報特別委員会
- 8日・阿仁スキー場安全祈願祭
- 9日・本会議 一般質問①
- 10日・本会議 一般質問②
- 12日・秋田県森林・林業・林産業活性化推進議員連盟連絡協議会定時総会
- 13日・総務文教常任委員会
- ・市民福祉常任委員会
- ・産業建設常任委員会
- 17日・議会運営委員会
- ・12月定例会(最終日)
- 20日・広報特別委員会  
(特集記事取材)
- 21日・小阿仁川筋ダム対策連絡協議会
- 22日・広報特別委員会  
(特集記事取材)
- 24日・薬師山スキー場開き 安全祈願祭

1月

- 9日・消防出初式
- 10日・北秋田市成人式
- 13日・広報特別委員会
- ・市民福祉常任委員会  
(所管事務調査)
- 14日・議会運営委員会

## 秋田県地方自治功労者表彰

地方自治の進展に多大な貢献 山田博康議員が受章



令和3年(第57回)秋田県地方自治功労者表彰式が、令和3年10月29日に秋田市文化会館で行われました。

この表彰は、県議会議員、市町村長、市町村議会議員、副市町村長等として、永年にわたり地方自治の進展に寄与された方の功績をたたえ、知事が表彰しているもので、当市議会からは山田博康議員が表彰されました。

## 議会を傍聴してみませんか

市議会では、皆さんの生活に直結した重要な問題を審議しています。開かれた議会を目指し、どなたでも本会議の傍聴が可能となっていますので、市議会の活動状況をぜひご覧ください。お待ちしております。

次の定例会は2月の予定です

各常任委員会の会場

- ▷市民福祉(本庁舎)
- ▷産業建設(本庁舎)
- ▷総務文教(本庁舎)



☎090-4314-7102

代表 萩原順子

朗読ボランティア やまびこ

【お問い合わせ】

い合わせください。

直接「やまびこ」までお問

配布を希望される方は、

料で配布しています。

では、市議会広報の読み上

げを録音した音訳CDを無

料で配布しています。

朗読ボランティア「やまびこ」

目録の不自由な方々にも市

議会広報の内容をお伝えす

るため、市内で活動する朗

読ボランティア「やまびこ」

では、市議会広報の読み上

げを録音した音訳CDを無

料で配布しています。

朗読ボランティア「やまびこ」  
目の不自由な方に広報の  
音訳CDを配布します

## 広報特別委員会

- |      |         |
|------|---------|
| 委員長  | 杉 淵 一 弘 |
| 副委員長 | 三 浦 倫 美 |
| 委員   | 蛇 川 敬   |
| 委員   | 佐 藤 光 子 |
| 委員   | 武 田 浩 人 |
| 委員   | 佐 藤 重 光 |

総務文教常任委員長に  
**武田浩人氏**を選任  
総務文教常任委員会は、委員長の武田浩人氏の死去に伴い、委員長に副委員長長の武田浩人氏を、また、副委員長に山田博康氏を選任しました。